

# 鋭い攻撃の応酬

—日・ソサッカー—

232F

日・ソ親善サッカー最終戦は小雨ふる国立競技場に1万5千の観衆を集めて行なわれた。

ソ連は終始優勢に試合を進め、早いテンポで日本ゴールを脅かすが、ミがっちり守り抜き、絶対に点はやらない、と日本の作戦が功を奏し得点のチャンスがつかめなかった。

一方、日本は、後半になると、ソ連ゴールを脅かす善戦ぶり、杉山・釜本・八重樫など、ベテラン選手がゴールに切り込むが、ソ連のゴールキーパーブシェニチコフの好守にはばまれ得点ならず無得点のまま引き分け、日本の善戦にサッカーファンを熱狂させた。

## 今週の焦点

# 求人戦線異常あり

368F

求人する方とされる者……。

その需給関係は次第に求人活動を困難にしている。かくて紙面は連日、大々的な募集広告で埋る。

殊に中学卒業生の就職希望者を集めようとする場合、事態はさらに深刻である。

かくて、東京のお米屋さんの組合では100名の中卒者を求めて宮城県下に大々的な募集作戦を展開した。

好況の波に乗る電気メーカーでは注文をさばくため団地婦人のパート・タイマー採用にのり出した。

日本の経済は労働力過剰の時代から不足の時代に代ろうとしているのです。